

社会背景と本県の取組

- 「人生100年時代構想会議」などの場において、リカレント教育（社会人の学び直し）の重要性が指摘されている。
- 令和2年度に立ち上げた「こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」において、就職氷河期世代（35～50歳）に対する取組を促進している。
- 第4期高知県産業振興計画のポイントとして「担い手確保策と移住促進策の連携」が掲げられている。

現状と課題

◇現在の年齢制限

〈高知校〉 全訓練科	39歳以下（H28～）
〈中村校〉 木造建築科、左官エクステリア科 住宅リフォーム科	45歳以下（R02～） 65歳以下（設置当時～）

※普通課程は主に学卒者を対象とした訓練となっているため、年齢制限を設けている。

◇充足率の状況

	[H28]	→	[R 2]	◇両校とも低く推移
高知校	60.0%		48.2% [↓]	◇高知校は減少
中村校	45.0%		62.5% [↑]	◇中村校はR 1に改編を行い、改善

中四国への聞き取り状況（学卒者対象訓練に限る）

- 年齢制限なし 4県（鳥取県、島根県、岡山県、愛媛県）
- 年齢制限概ねなし 2県（広島県は充足状況に応じ、年齢制限を引き上げ。徳島県は理容科、美容科が35歳以下だが、それ以外の科は年齢制限なし。）
- 年齢制限あり 2県（山口県34歳以下、香川県40歳未満）

〈入校選考時の工夫〉

- ・初回の選考時は新卒者に限定するなどの工夫をしている施設がある。

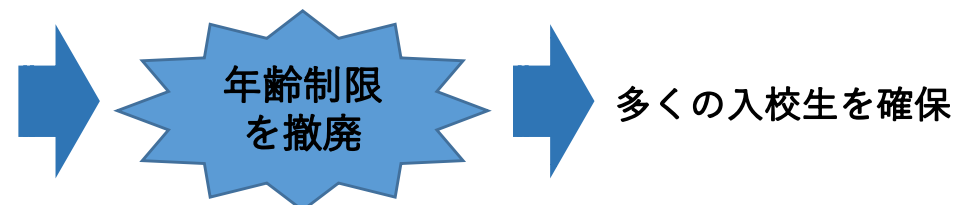
業界団体の意見

- 採用対象となる年齢について聞いたところ、15団体中、1団体が30歳、3団体が40～50歳であり、残りの11団体は60歳以上もしくはは特段問わないとの回答。
- 給与面、体力面での課題を指摘する団体もあるが、年齢制限を撤廃することについて、否定的な意見は少ない。

第1回審議会での指摘事項

- 就職率を上げることも大事だが、あまり年齢にとらわれなくてもいいのではないか。（大井委員）

- 新規学卒者をメインターゲットとしつつ、人生100年時代を見据え、幅広い年齢層の方が訓練を受講できるようにする
 - ・Uターンや移住者の方にも技術学校を選択肢に入れてもらう
 - ・就職氷河期世代にも対応



※本県においては、初回の試験として推薦入試を実施しており、年齢制限を撤廃してもメインターゲットである新規学卒者の入校は担保されている。